

興道

休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

工夫・シェア・チャレンジ



浦庄小学校校長室だより
令和4年4月8日発行

カラー版は学校WEBページをご覧ください

令和4年度もよろしくお祈いします。

学校に子どもたちの元気な声もどり、新しい年度が始まりました。保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援をいただき誠にありがとうございます。全国的には新型コロナウイルス感染拡大に収束の兆しが見られるような報道もあります。しかし、新型株の確認、石井町の感染状況や私のまわりを見ると、これまでで一番深刻な状況下での新年度スタートとなったように感じます。引き続き感染拡大防止対策へのご協力もよろしくお願いいたします。

今年度の学校教育目標は「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する ～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～」を継続することとしました。この目標のもと、全職員一丸となって、さらに充実した学校経営に努めます。年度末の教職員人事異動により5名が転任・退任し、新たに6名が着任しました。クラス数の関係で1名教員が増となり、今年度は21名の職員組織で学校運営を行ってまいります。「工夫・シェア・チャレンジ」を合い言葉に、子どもたちの成長に向けて精一杯努力してまいります。児童のなりたいたいという夢や、やりたいという願いを叶えられるように、その土台づくりを手助けしていきます。

児童、保護者、地域の皆様のご期待に応えられるような教育を目指していきたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※始業式で子どもたちに次のような話をしました。

全国的には新型コロナウイルス感染対策が緩まっていますが、石井町や私の周りをみると、これまでで一番感染リスクが高い深刻な中での新年度スタートとなりました。気持ちも新たに、自分にできることをしっかりとやって、自分の命と健康を、周りの人の命と健康を守っていきましょう。

さて、今日から、新しい学年が始まります。今どのような気持ちですか？どんな先生が来ているのだろうか、担任の先生はだれなのだろうか、期待と不安が入り交った、わくわく、どきどきするような気持ちで来たことでしょうか。去年はできなかったことも、今年ではできると思います。「よし、これから頑張るぞ」という、引き締まった気持ちで一人一人がいいスタートを切ってほしいです。昨年度の6年生からいただいた日めくりカレンダーの1日目に「(右図)」と書かれています。3月まで学校生活を全力で楽しみましょう。

新しい学年の初めに、皆さんに伝えたいことはたくさんあります。今日はその中から、今年の浦庄小学校の目標についてお話します。この写真を見てください。

昭和11年にできた「興道館」という建物です。この建物は、浦庄地域から大阪や東京などにでて暮らされていた方々が、母校やふるさと浦庄への愛情、浦庄を出て苦労しながら自立したことや、浦庄の子どもが立派な人になるようにという思いで、作ってくださったそうです。

そうした思いを大切に、浦庄小学校の子どもたちを育てたいという思いから、今から約35年前に当時の校長先生が、校訓「興道」を考えられたそうです。こうした思いを受け継いで、皆さん一人一人が成長できるように、今年度の学校教育目標を、昨年度に引き続き、

「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する」
～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～」としました。

「聴く・話す・学び合う」はこれまでずっと話してきました。「浦庄小は、どの学校より、人の話をしっかりと聞いて、自分の考えをはっきりと話すことができるように頑張る子どもがいっぱいいるところです。」とみんなが自信をもってこたえられる学校を目指していきましょう。

人それぞれ、感じ方も違えば、言い方や話し方も違います。けれど、一生懸命伝えようとしてることに、バカにしたり無視したりしないで、一生懸命に聴いて、相手を安心させてあげてください。お互いに、人に何かを伝えるときには、相手が傷つくような言葉や、言葉遣いをしないように気を付けて、みんなが温かな雰囲気になれるような学級を作っていくてください。

カレンダーの2日目には「(右図)」とあります。まずは、行動に移すこと、チャレンジです。その積み重ねが、皆さんの夢に続く道となります。

では、1年間ともにごんばりましょう。

